

**2008年度図書館サービス・システム委員会実務担当者研修会アンケート結果
ワーキング別集計(項目抜粋)【ワーキングA】**

日時:2008年9月4日～9月5日／場所:レイクサイド入鹿

回答数:7(両日参加者数:10 回答率:70.0% [参加者数に講師含まず])

1. 身分等

A:大学所属(専任・嘱託・契約職員など)	6	85.7%
B:そのほか(派遣・委託職員など)	1	14.3%
回答無し	0	0.0%

2. 図書館業務の経験年数

A:5年未満	3	42.9%
B:10年未満	3	42.9%
C:15年未満	0	0.0%
D:20年未満	0	0.0%
E:20年以上	1	14.3%
回答無し	0	0.0%

8. ワーキングの内容について

A:とても参考になった	5	71.4%
B:参考になった	1	14.3%
C:あまり参考にならなかった	0	0.0%
D:参考にならなかった	0	0.0%
回答なし	1	14.3%

<自由記入>

【A:とても参考になった】

ミニ講義の中でレイアウトについて学ばせていただいたり、他館の広報の現状、課題を聞けて勉強になりました。苦手なレイアウトについて学ぶことができた。

とても良かった。しかし、ディスカッション・ワークショップの時間が短かったので、もう一日長くても良いと思います。

趣味的な仕事に走りがちであった自館での広報活動をターゲットや効果を考えて行うという「テクニック」として捕らえる必要がある。と知ることができました。これまでただの「ポスターづくり」ととらえていた業務も「図書館の広報」全体の仕事を知り、その一部である。と認識できたことで今後、より視野を広げて業務を改善していくことができるのではないかと思います。

【B:参考になった】

他館の状況がとても参考になった。実際の作業の時間が短く、またPC等の機材も限られていたので本格的なワーキングができなかった事が残念でした。

9: 事前課題について

A:あっても良い	6	85.7%
B:無いほうがよい	0	0.0%
回答無し	1	14.3%

<自由記入>

【A:あっても良い】

ポスター・チラシの改善、改善後を発表することで、より実践的になったので、事前課題はあってもいいのではないかと思います。

より深く学ぶことができる。

自分で学んだり、まとめたことに指導してもらったり、みんなでディスカッションするほうが実践的で身につくため当日参加だと、どうしても問題意識を持ちづらく受身の姿勢になってしまうと思うので。

あまり参加者の負担にならないものであれば事前に課題に取り組んだ方がモチベーションが上がってよいと思います。

【回答無し】

ただ参加するよりは、事前に課題が与えられるのは勉強する機会となり良いと思われます。ただ、夏休みは時間があるようでなく、作成には苦勞が伴いました。

10. 今後希望する研修会のスタイルについて(複数回答あり)

A:今回のようなワーキング主体の研修会	6	85.7%
B:グループ討議主体の研修会	0	0.0%
C:講演主体の研修会	0	0.0%
D:その他	1	14.3%

11. 今後研修会で扱ってほしいテーマについて(複数回答あり)

A:発注・受入	2	9.1%
B:整理	0	0.0%
C:蔵書検索	1	4.5%
D:危機管理	3	13.6%
E:利用者支援・利用者教育	5	22.7%
F:ILL	0	0.0%
G:Webサービス(データベース・電子ジャーナルなど)	5	22.7%
H:ポータルサービス	0	0.0%
I:e-ラーニング	0	0.0%
J:広報(ポスター・チラシなど)	4	18.2%
K:人員管理	2	9.1%
L:その他	0	0.0%